

みやぎの交通事故

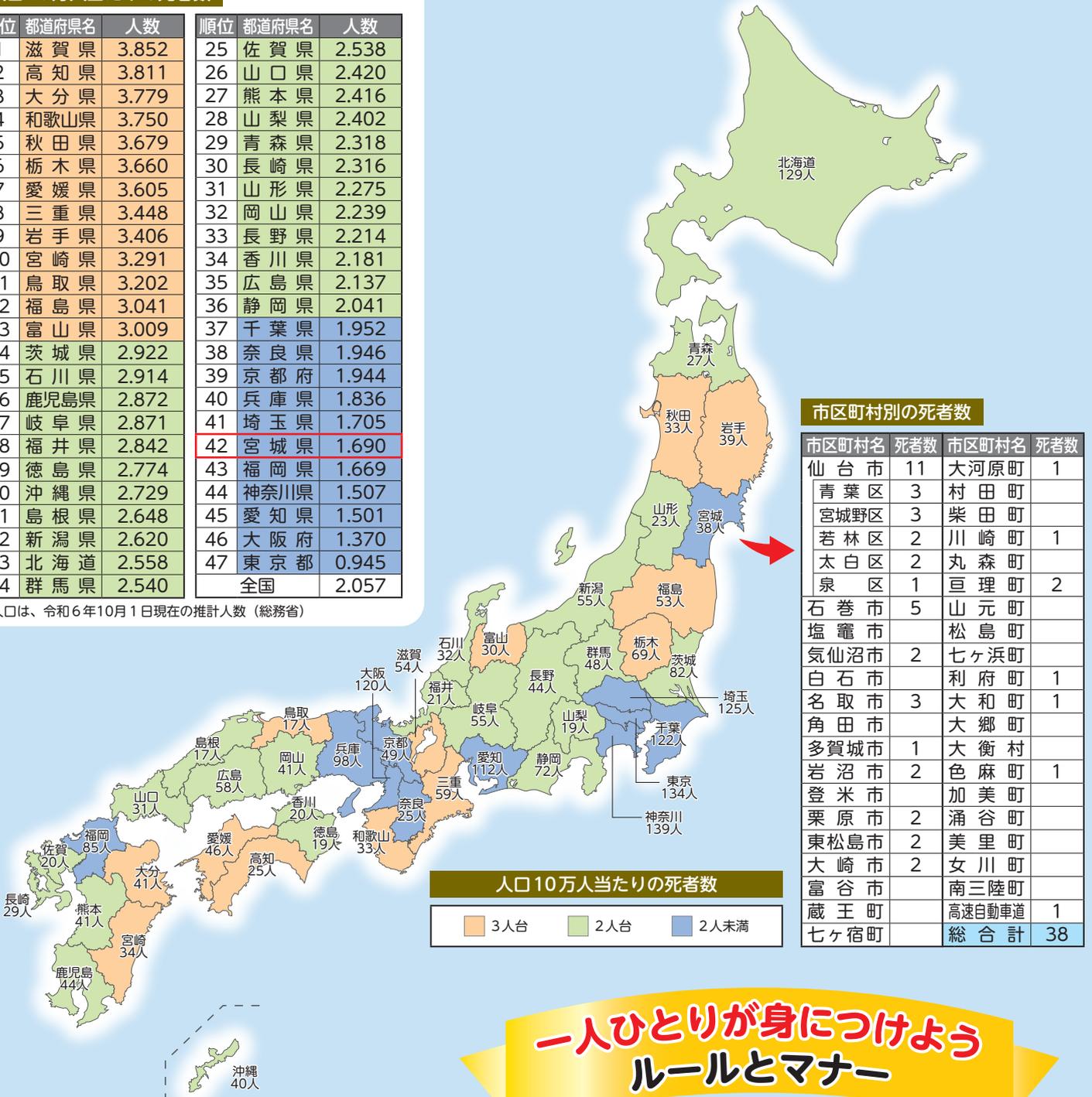
令和7年中

都道府県別交通事故死者数

人口10万人当たりの死者数

順位	都道府県名	人数	順位	都道府県名	人数
1	滋賀県	3.852	25	佐賀県	2.538
2	高知県	3.811	26	山口県	2.420
3	大分県	3.779	27	熊本県	2.416
4	和歌山県	3.750	28	山梨県	2.402
5	秋田県	3.679	29	青森県	2.318
6	栃木県	3.660	30	長崎県	2.316
7	愛媛県	3.605	31	山形県	2.275
8	三重県	3.448	32	岡山県	2.239
9	岩手県	3.406	33	長野県	2.214
10	宮崎県	3.291	34	香川県	2.181
11	鳥取県	3.202	35	広島県	2.137
12	福島県	3.041	36	静岡県	2.041
13	富山県	3.009	37	千葉県	1.952
14	茨城県	2.922	38	奈良県	1.946
15	石川県	2.914	39	京都府	1.944
16	鹿児島県	2.872	40	兵庫県	1.836
17	岐阜県	2.871	41	埼玉県	1.705
18	福井県	2.842	42	宮城県	1.690
19	徳島県	2.774	43	福岡県	1.669
20	沖縄県	2.729	44	神奈川県	1.507
21	島根県	2.648	45	愛知県	1.501
22	新潟県	2.620	46	大阪府	1.370
23	北海道	2.558	47	東京都	0.945
24	群馬県	2.540		全国	2.057

※人口は、令和6年10月1日現在の推計人数（総務省）



市区町村別の死者数

市区町村名	死者数	市区町村名	死者数
仙台市	11	大河原町	1
青葉区	3	村田町	
宮城野区	3	柴田町	
若林区	2	川崎町	1
太白区	2	丸森町	
泉区	1	亘理町	2
石巻市	5	山元町	
塩竈市		松島町	
気仙沼市	2	七ヶ浜町	
白石市		利府町	1
名取市	3	大和町	1
角田市		大郷町	
多賀城市	1	大衡村	
岩沼市	2	色麻町	1
登米市		加美町	
栗原市	2	涌谷町	
東松島市	2	美里町	
大崎市	2	女川町	
富谷市		南三陸町	
蔵王町		高速自動車道	1
七ヶ宿町		総合計	38

一人ひとりが身につけよう
ルールとマナー

宮城県警察本部

交通事故発生状況 (宮城・東北・全国)

●宮城県

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
令和7年	3,730	38	38	502	4,031	4,533
令和6年	3,785	47	47	444	4,121	4,565
増減数	-55	-9	-9	58	-90	-32
増減率	-1.5	-19.1	-19.1	13.1	-2.2	-0.7
1日当たり	10.2	0.1	0.1	1.4	11.0	12.4

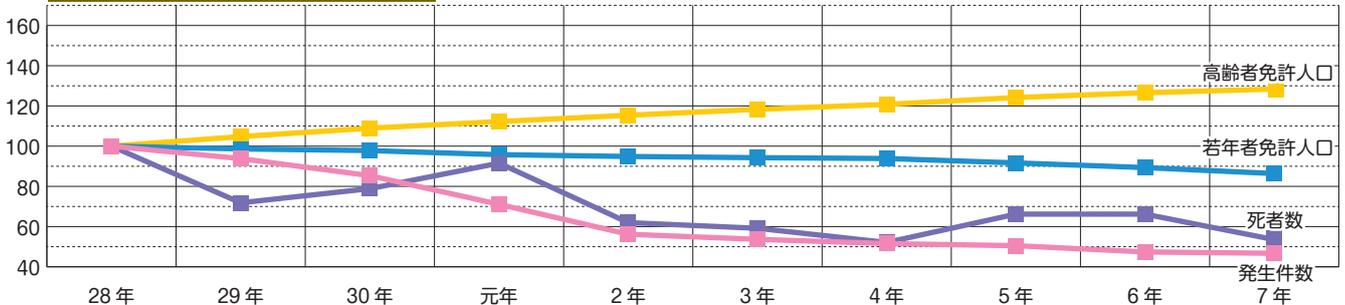
●東北・全国との比較

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率	1日当たり	
宮城県	発生件数	3,730	3,785	-55	-1.5	10.2
	死者数	38	47	-9	-19.1	0.10
	負傷者数	4,533	4,565	-32	-0.7	12.4
東北	発生件数	14,481	13,978	503	3.6	39.7
	死者数	213	224	-11	-4.9	0.58
	負傷者数	17,541	16,803	738	4.4	48.1
全国	発生件数	287,023	290,792	-3,769	-1.3	786.4
	死者数	2,547	2,663	-116	-4.4	6.98
	負傷者数	338,508	343,756	-5,248	-1.5	927.4

宮城県の交通情勢の推移

(指数) 過去10年間の交通事故・免許人口等の推移

※指数は平成28年を100とした数



区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
交通事故	発生件数	7,986	7,491	6,815	5,675	4,487	4,286	4,117	4,033	3,730
	死者数	71	51	56	65	44	42	37	47	38
	負傷者数	10,057	9,353	8,509	6,941	5,483	5,182	4,912	4,932	4,565
免許人口	1,542,955	1,545,353	1,546,701	1,544,213	1,542,518	1,541,377	1,540,919	1,539,586	1,535,001	1,528,025
	若年者	114,591	113,011	112,074	109,733	108,706	108,016	107,546	105,041	102,368
	高齢者	312,391	327,244	340,355	350,534	360,364	369,586	377,290	387,897	395,375
車両台数	1,863,192	1,867,411	1,865,935	1,864,810	1,858,974	1,859,448	1,857,075	1,858,791	1,855,250	1,848,731

※若年者は24歳以下、高齢者は65歳以上 ※車両台数(原付以上)は各年3月末現在

過去5年間の主な交通事故発生状況

区分	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	
子供	件数	220	227	244	250	238
	死者数	0	0	0	0	1
	傷者数	261	266	289	289	282
高齢者	件数	654	570	595	551	557
	死者数	24	18	19	26	23
	傷者数	701	596	629	583	579
歩行者	件数	513	505	488	511	542
	死者数	13	18	11	13	15
	傷者数	513	496	489	507	539
自転車	件数	586	624	577	564	533
	死者数	5	3	3	6	5
	傷者数	588	630	577	563	534
若年運転者	件数	586	559	520	469	435
	死者数	7	1	7	7	0
	傷者数	739	691	672	601	573
高齢運転者	件数	1,002	1,076	1,036	1,062	1,059
	死者数	13	13	14	12	15
	傷者数	1,148	1,271	1,247	1,265	1,267



急ぐほど 狭まる視野と 増すリスク

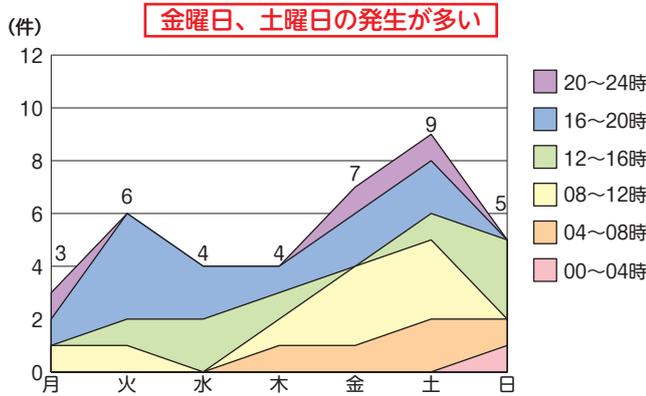
交通事故発生状況

いつ？

● 時間帯別発生状況

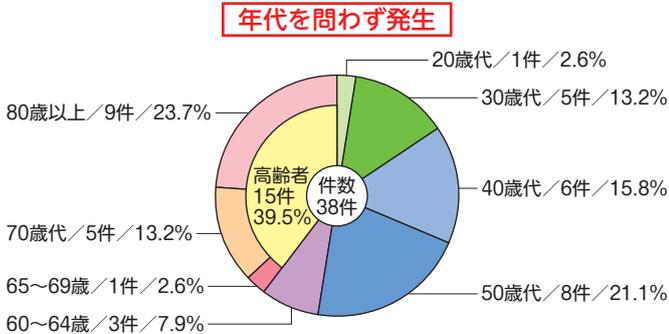


● 曜日・時間別発生状況

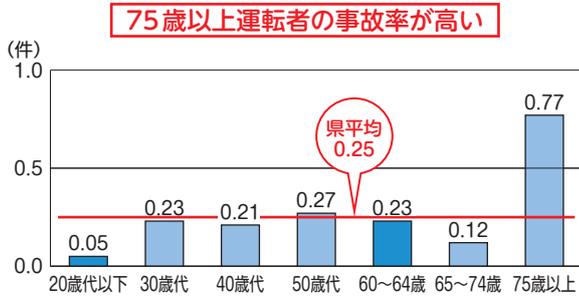


だれが？

● 第1当事者の年代別発生状況

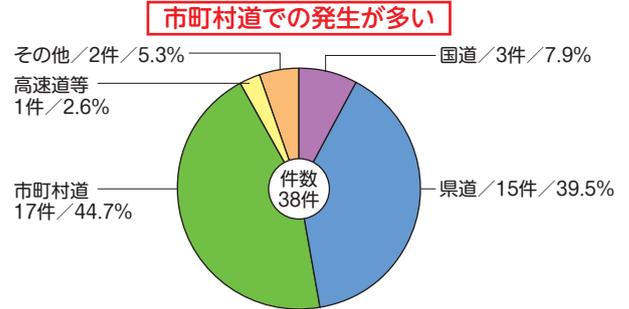


● 免許人口1万人当たりの発生状況



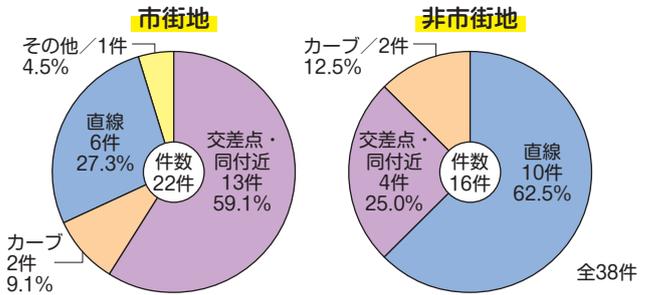
どこで？

● 道路別発生状況



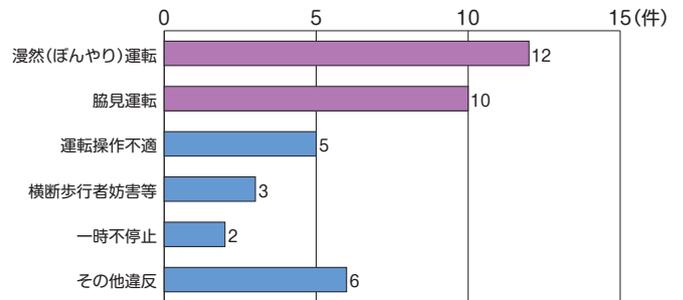
● 道路形状別発生状況

市街地での発生が多い
市街地では交差点・同付近で、非市街地では直線で多発



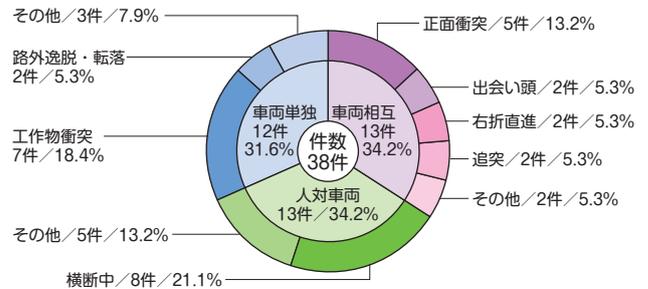
どんな原因で？

● ぼんやり運転や脇見運転による事故が多い



どんな事故？

● 横断中の人と車両の事故が多い



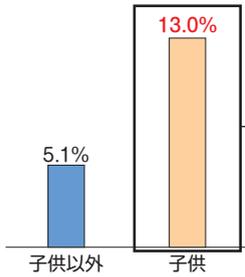
いのちはね ゲームみたいに もどらない

子供の事故

中学生以下の子供が死傷した交通事故

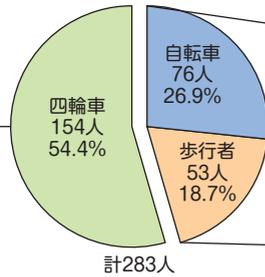
●シートベルト等非着用率

子供の非着用率が高い



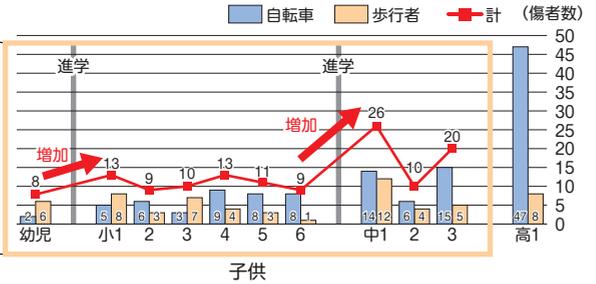
●当事者別子供の死傷者

四輪車が多い



●自転車・歩行者の学年別傷者数

進学タイミングで傷者数が増加 学年が上がるほど自転車が増加傾向

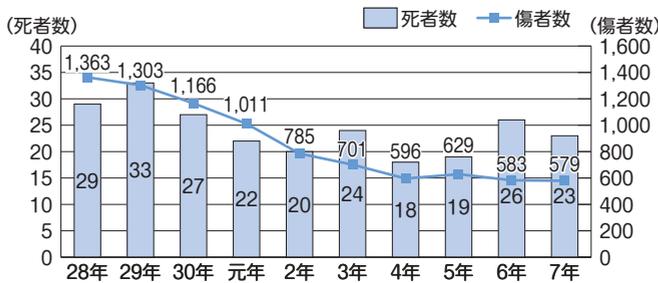


高齢者の事故

高齢者が死傷した交通事故

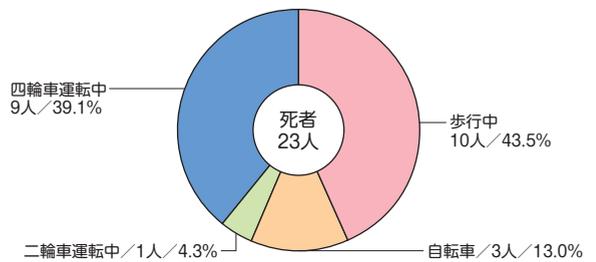
●高齢死傷者の年次推移

死者数は横ばい、傷者数は減少傾向で推移



●状態別死者数

歩行中と四輪車運転中で約8割を占める

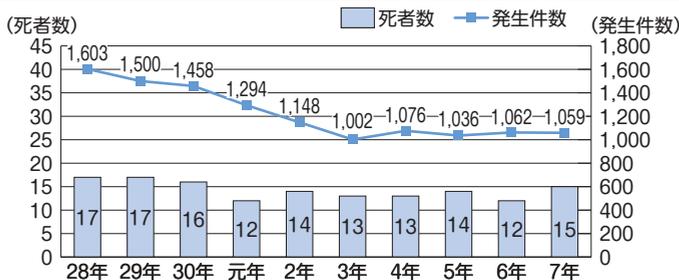


高齢運転者の事故

一般原付以上を運転する高齢者が第1当事者となった(起こした)交通事故

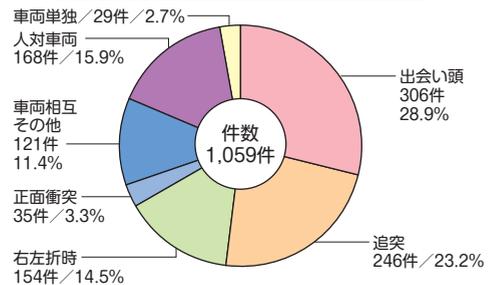
●高齢運転者事故の年次推移

事故が減少傾向にあるなか、高齢運転者事故は令和3年以降横ばい



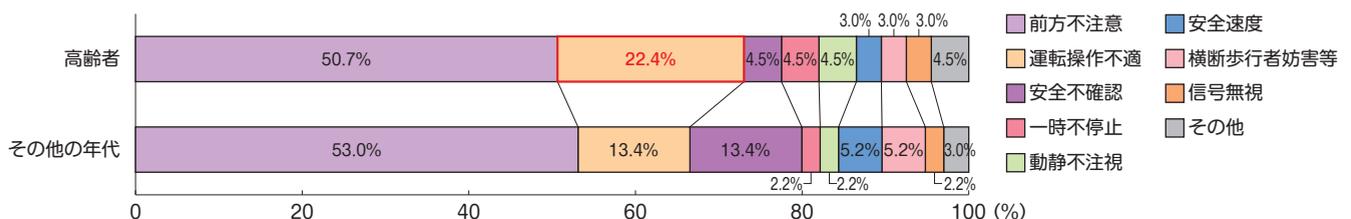
●高齢運転者事故の形態

出会い頭事故・追突事故が多い



●死亡事故の違反・原因割合 (令和3年~令和7年)

その他の世代と比べ、運転操作不適の割合が特に高い



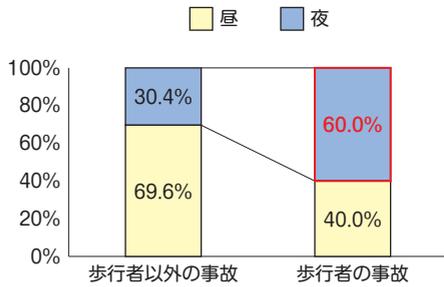
車から ぼくたちみえない 手をあげよう

歩行者の事故

歩行者が死傷した事故

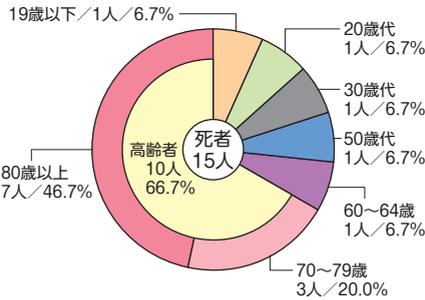
● 昼夜別死亡事故発生割合

夜の発生割合が高い



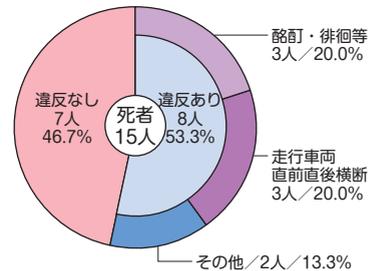
● 歩行中死者の年代別

歩行中の死者の約7割が高齢者



● 歩行中死者の違反別

死者の約5割に違反あり

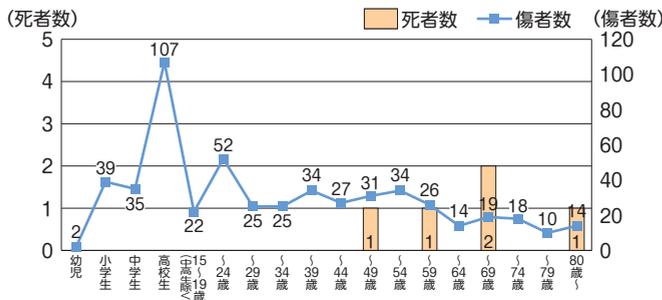


自転車の事故

自転車乗用者（同乗者を含む）が死傷した事故

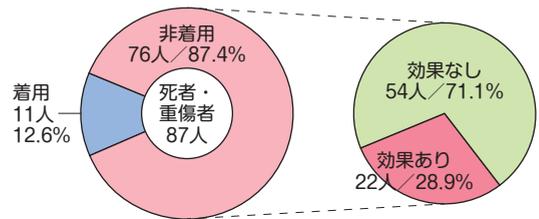
● 学識別年代別自転車乗用中死傷者数

傷者は高校生が多いが、死者は40代以上



● 死者・重傷者のヘルメット着用率と効果等

ヘルメット非着用者76人のうち22人は、着用していれば被害軽減の効果があったと思われる

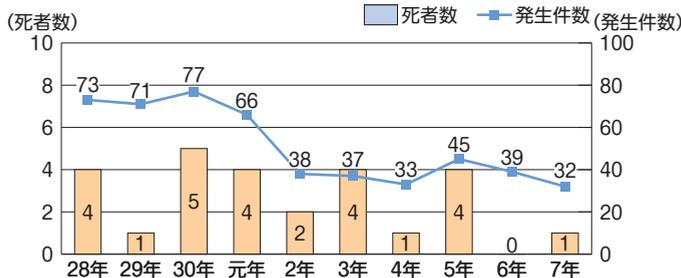


飲酒運転の事故

一般原付以上の運転者が飲酒（酒気帯びを含む）運転をして第1当事者となった（起こした）交通事故

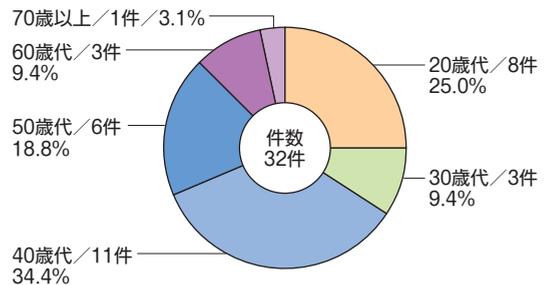
● 飲酒運転事故の年次推移

令和2年以降、件数は40件前後で推移 令和6年は死亡事故ゼロを達成



● 第1当事者の年代別発生状況

20歳代、40歳代による事故が多い

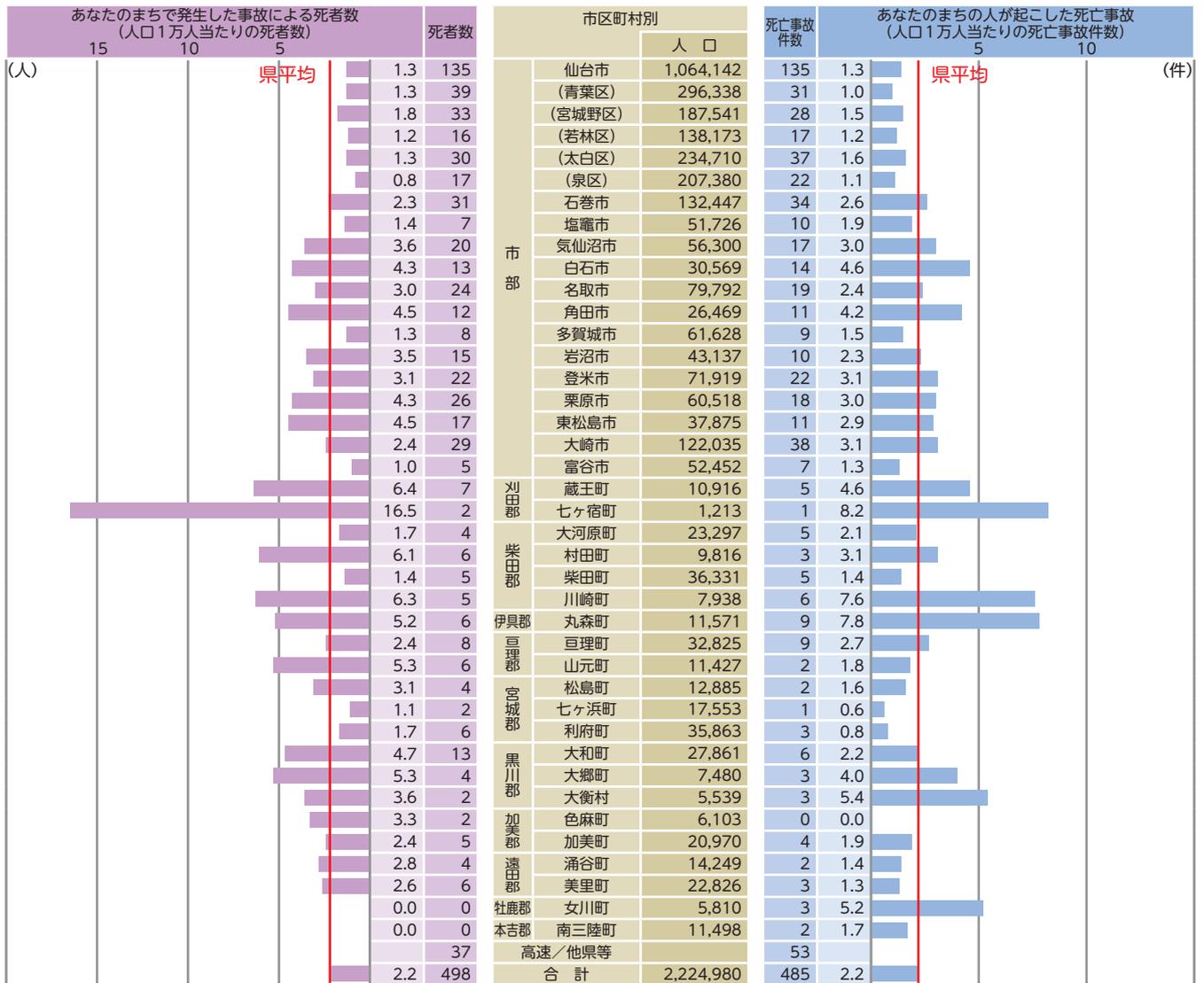


区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
発生件数	73	71	77	66	38	37	33	45	39	32
死者数	4	1	5	4	2	4	1	4	0	1
負傷者数	91	97	98	91	55	49	50	52	44	38



ヘルメット 命のお守り 忘れずに

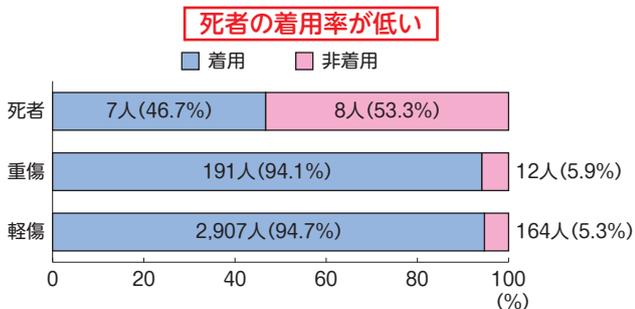
過去10年間の市区町村別交通死亡事故発生状況 (平成28年～令和7年)



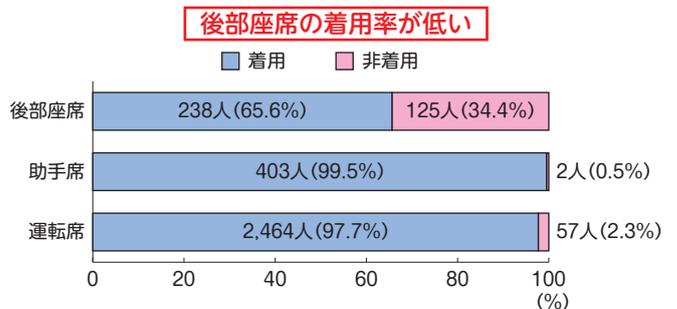
※人口は、令和7年1月1日現在の住民基本台帳人口（総務省） ※富谷市は旧黒川郡富谷町を含む

シートベルトの着用状況 (令和7年)

死傷者別シートベルト着用率



乗車別シートベルト着用率



交通ルール 守るあなたが 守られる